

日本共産党区議会議員



こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)  
日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 区民アンケートが次つぎと届いています



日本共産党区議団が行っている「第11回区民アンケート」が次つぎと返信が届きました。1700通を突破しました。

「ご協力ありがとうございました。」

## 一七〇〇通を突破！ ひきつづきご協力を

まだまだ受け付けていますので引き続きアンケートに記入しメール、ファックス等でも送ってくださいようお願いいたします。届いたアンケートから抜き書きでその一部を紹介します。

### 暮らしについて

「主人の仕事が少なくなり転職、収入が減った。保育園でなく幼稚園に入園し保育料が高く家計の負担が増えた」27歳・女性

### 女性

「残業手当がなくなった。休業補償手当がつくので会社から強制的に休まされる。休んだ分欠勤扱いで手当がつく」43歳・女性

「会社の業績が苦しく人員削減と併せて年収が120万円ほど引き下げられた」55歳・男性

「中一、小五の子ども二人をパートで育てる母子家庭。家賃の負担が大きく、都住は被災者の方で一般の受付は見通しないといわれた。払うものだけどんどん増えて、この先不安でたま

### 「税金が増えたので大変です。」

「税金が増えたので大変です。子どもが高校生、中学生で教育費が大変。私も体調が余り良くなく医者にかかって、近所の工場の騒音、振動があり夜眠れない。子どもも勉強に見に入らな

### 大震災、原発について

「義母、義弟、義妹が南相馬市のため避難中である」64歳・男性

「通信の不通で家族と連絡とれずに困った」女性

「部屋のガラス製品が落ちて割れて部屋中がガラスで大変でした。5階に居たので大変ゆれが大きく心配しました」88歳

### 女性

「出かけていたので電車が止まり息子の所に泊まった。非常に疲れた。避難所の方を考えると長期にわたり本当に辛いと思う」62歳・女性

「湯船に亀裂が入り、食器が割れた程度ですが初めての経験でした。日本を背負っていく子どもたちが放射能汚染により、健康被害に遭わないかとても心配です。水力、風力発電にたよる事はできないのでしょうか？太陽光発電などもっと推進すれば良いと思います」61歳・女性

「足立区がホットスポットと聞き、子どもの影響が気になります」27歳・女性

「各避難所は本当に安全か、備蓄はどう振り分け、足りるのか。避難所の収容人数。原子力は環境にも良い一番メリッ

トがあるはずだったけれど、地震大国の日本ではアメリカトがとて大きいので「コスト、土地の問題をなんとかして自然エネルギーに変えていく必要がある」と思っている60歳・女性

「日本は世界で初めて原発を受けた国だということ忘れてしまっている。足立区の放射能測定を発表して欲しい。松戸市とか多摩地区のことは言うが足立区のこととは言わぬから」73歳・男性



## 大鷲神社 獅子舞

おとり じんじゃ  
**花畑大鷲神社**(花畑7-15)で7月17日(日)祈禱獅子舞が行なわれました。

祈禱獅子舞は毎年7月の第3日曜日に開かれ足立区の無形民族文化財として現代に伝わっています。この獅子舞の起こりは不明ですが「足立区史跡散歩」足立史談会の資料によると、江戸中期以後、大鷲神社の酉(とり)の日に参詣する人が多くなるにつけ、雨乞いや疫病祓いの行事として盛んに行われたと伝えられ、「足立風土記稿」では天下泰平、五穀豊穡などを祈念して奉納ようになったとしています。

獅子は一頭一人の個人獅子で、雄獅子二匹に雌獅子一匹、雄には角があつて雌にはなく、獅子の胴は黒の木綿、背になぞられた山鳥の黒い羽が尻のあたりまで垂れ下がっており、舞い手は黒い袴をはき舞う時には、胸には太鼓をつけ、両手にバチを持って打ち鳴らし岡崎、綱渡り、橋渡り、など6種類の舞いを奉納すると言うものです。

暑い日に舞うことは大変な力があるようで舞いのあと若者は汗だくで顔を真っ赤にして、そばでうちわで風を送る人も汗だくでした。稽古を重ね伝統を次代継承して欲しいと思いました。この神社は江戸時代に東北安倍一族攻撃に向かった源頼義、義家親子が戦勝を祈願したことが起源と伝え、江戸の時を知らせた「酉の市」の本家とも言われ、11月の酉の市は近郷近在から人がにぎあう神社です。 伊藤和彦



# 被災地石巻市にボランティア支援

先週の伊藤ニュース919号でお知らせした  
石巻支援のつづきです

日本共産党足立区議団は、私・伊藤和彦と7人全員、翌日(7月14日)センターに出かけ朝から活動し



ました。現地の震災・救援(石巻)センターでは「物資を届け隊」「家のかたづけ隊」「泥だし隊」などの活動がありま

## 日本共産党足立区議団



す。センターの要請で「ご用聞き隊」をすることになりました。被災された方を訪ね困っていること、意見など何でも聞いてくる活動です。

国立の市議、大学生ボランティアと合流し10人で仮設住宅を訪問しました。  
仮設住宅は「車がないと買い物に行けない」「情報が来ない」  
はじめに一人暮らしの男性(71歳)と対話となりました。  
「あの日(3月11日)は、姉の家

にいた時、津波に合って日和山公園に逃げたが、山からずーと見ていた怖かった。私は船乗りで働いてきたので今は年金暮らし。妻は亡くなり71歳になったがこんなことになるとは思わなかった。仮設住宅に当たって住むようになったのは3日前だ。軽自動車があるから買い物には行けないと暮らせない不便な所。クーラーはあるがな

「忘れられない津波の惨事」  
次に訪問したのは牡鹿半島から避難してきた家族でした。「52軒の部落で残ったのは3軒だけだった。知り合い15人が亡くなった。自衛隊のヘリコプターで助けられ学校の避難所に運ばれ助かった。6月の末に仮設住宅に当たり、何とか暮らしている」と言う78歳と74歳の夫婦は「みなさんに支援してもらってありがたい」と話し、「困ってること、要望はありませんか」と尋ねると、あの時(3月11日)を思い出すように震災と津波で避難したことをぼつりぼつりと話してくれました。



石巻市内の仮設住宅 7月14日

使わないようにしている。子どもたちや孫もそばにいてやつと生活は安心してきた。できれば掃除機が欲しい。「訪問して来てくれるのは共産党だけ、ありがたい」と話しました。  
仮設住宅は空き室が多くどうしてだろうか?と聞いていたことが対話してわかりました。訪問活動は日本共産党だけで、その役割は大きいと思いました。他では「住民と話すな」と指示指

「車で生活2ヶ月 義捐金は来ていない」  
「仮設住宅は手抜きだ 床はぶかぶか、ドアの隙間から虫が入ってくる」  
41歳・派遣労働者と言う青年と対話しました。  
「家族はバラバラに暮らしているが連絡は取れるようになった。仕事ができるようになるまで軽自動車2ヶ月間暮らした。離婚して一人暮らしだが海が好きだ。ストレスを無くしたい。義捐金は来ていないがどうなっているのか」など話が弾みました。初め会ったときは不機嫌な顔を

**●質問にお答えします**

**質問** 政府や東電は原発事故情報をだすのが余りにも遅い、何故なのか。その他の対応も遅い。原発利益共同体と言われているが聞きたい。

**答え** 専門家の話などでは、事故現場が放射能で汚染されていて容易に近づけず、全容がまだにつかめていないと言われています。明らかに情報を隠しています。欧米では情報公開が当然ですが、日本政府や東電の『秘密主義』は外国では不思議になっています。秘密主義の背景には「原発利益共同体」の存在があります。電力会社や原子炉メーカー、製鉄会社、ゼネコンなど原発で利益を受ける人たちがいます。

その利益に官僚や国会の政治家も関わっていますから原発事故の情報を出そうとしないのです。利権が絡む構造になっていますから、東京では東京電力、大阪は関西電力のように電力供給を特定の電力会社で独占しています。私たちが他の電力会社から電力を買いたいと言っても買えないのです。電力会社の利益を保障する「総括原価方式」と言うしくみで、原発一基つくるのに3000億円から5000億円。核燃料費、ランニングコスト、原発を廃炉にする費用などすべて発電コストとして電気料金に入られています。原発にどんなに費用がかかっても電気料金を上げればいいのですから電力会社の懐は痛みません。つくる原子炉メーカーは東日本の原発は東芝と日立です。西日本は三菱重工。定期点検、部品交換など請け負いますから定期的に利益が保障されています。建設は鹿島建設、大林組など大手ゼネコンです。工事は長期になるので資金調達は大銀行が引き受けます。電力会社は地域独占、総括原価方式で絶対つぶれません。不良債権もありません、金利も入るこれが「原発利益共同体」の実態です。 区議会議員伊藤 和彦

